

議 事 日 程 第 9 号

令和 2 年 6 月 2 6 日 (金) 午 前 1 0 時 開 議

第 1 一 般 質 問

一 般 質 問 (6 月 26 日)

1 草 間 議 員 (自 民 党)

コロナ対策（第2波に備えた諸施策、市の事務権限の強化、児童虐待防止を目的としたLINE相談、特別定額給付金、コロナ禍における選挙事務対策）、危機管理対策（風水害対策の改善状況、大型ヘリコプターの離着陸場の確保、東京湾内の船舶からの支援）、アフターコロナの経済再生と市政運営（市民生活や市内事業者のこの1カ月の状況、水道料金改定の時期、市営交通事業、GIGAスクール、WTO対象工事における低入札対策、都筑区における区民文化センター、コロナ禍によるMICEへの影響、環境政策、新型コロナウイルス感染拡大と緑施策、アフターコロナの国際政策、IR、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、ポストコロナ時代を見据えたこれからの戦略や政策の在り方、今後の財政運営）

2 山 浦 議 員 (立 国 フ)

子供のための保育所の安定的な運営、児童虐待対策、学校の校庭開放の対応、コロナ後の中学・高等学校での放課後の部活動、医療機関への経営支援、認知症介護に対する支援の拡充、コロナ禍における市営住宅の活用、コロナ共生社会における新たな働き方への取組、委託契約の適正な履行の確保、税收減に備えた財源確保の考え方、今後の敬老特別乗車証の利用者負担、助成金・補助金等の受給者による市内での利用促進、特別自治市の取組

3 行 田 議 員 (公 明 党)

新型コロナウイルス感染症対応の振り返り、新型コロナウイルス感染症に係る本市における緊急支援策、新型コロナウイルス感染症に係る市民の暮らしを支える取組、ICTの活用による教育機会の確保、ICTの活用による本市の業務改革、市民の安全・安心に向けた取組、現業職員等の暑さ対策、本市の将来を見据えた取組

4 北 谷 議 員 (共 産 党)

コロナ感染拡大でその成長性に疑問符のついた統合型リゾート（IR）、ポストコロナの都市の在り方、市民に開いた庁舎と市民に寄り添った業務の在り方、就学援助制度のさらなる拡充、市立高校生徒と市立特別支援学校高等部生徒の学びを保障するためのタブレット等端末支給、市高等学校奨学金の現行制度の拡充と新たな制度創設

5 福 地 議 員 (自 民 党)

献血・骨髄ドナー登録者の増加に向けた取組、安全・安心なまちづくり、規制緩和や誘導手法による民間投資の刺激策、精神障害者支援の充実、IRの推進、学校施設の建て替え、教室の暑さ対策、第二次横浜市民読書活動推進計画に基づく新たな取組、環状2号線における道路陥没

6 磯部議員（自民党）

これからの都市づくり、歯科口腔保健の推進、子供の貧困対策、西谷浄水場再整備事業、行政手続の電子化、公共工事への新型コロナウイルス感染症の影響

7 長谷川(え)議員（立国フ）

新型コロナウイルス関連、コロナ禍における学校再開、保育関連施設、社会的養護に対する支援、子育て支援の充実、働く女性への支援、新型コロナウイルス感染症の市民生活への影響、ICTの活用による業務効率化、IR、栄区上郷地区における開発事業、緑地の保全と維持管理、郊外住宅地の活性化